

広河原薪炭再生集団の新窯火入れと窯出し

『広河原薪炭再生集団』の皆さんにより、地域の伝統を再生しようと、二つ目の炭窯づくりと炭焼きが行われました。

5月24日に約2か月をかけ新窯が完成。その日に『火入れ』を行い、6月11日に炭を出す『窯出し』となりました。

関係者の方からは、この間色々大変だったが、窯も炭もまずまずの仕上がりで良かったとお話でした。

取材と貴重な体験を通して、炭づくりの工程等を興味深く勉強でき、関係の皆様には大変お世話になりました。



お神酒を供えて、新窯に火を入れる



窯から取り出す直前の炭

京の苗木生産協議会のヤマザクラの採種活動

6月22日に『京の苗木生産協議会』の会員の皆さんによる『ヤマザクラの採種活動』が行われました。

この活動は、地域に自生する樹木の実から種を取り、数多くの苗木を育て植えることで、風土に合った多種多様な樹木による豊かな森づくりや、街中の緑化を図る景観保全を目的に行われており、この苗木を『地域性苗木』と言います。

会員の皆さんが育てた苗木は、京都市森林文化協会により、母樹の場所や種まきから鉢上げまでの生産履歴がしっかりと管理され『京の苗木』のブランド名で販売されています。

今回は、交流の森から林道を上がり、八丁平の手前までの間でヤマザクラの採種をしましたが、秋には20種類以上の樹木から採種されるそうです。

『京の苗木』による緑化が進み、京都ならではの豊かな自然、景観が育ち、守られるといいですね。

『京の苗木』の生産量を増やすため、協議会では会員を募集されています。ご興味をお持ちの方は、山村都市交流の森までお問い合わせください。



ヤマザクラの実を拾う会員の方々



集めたヤマザクラの実

初 め て の ア ユ 釣 り

6月21日に上桂川の鮎釣りが解禁になりました。釣り好きの私は、地域の釣り名人にご教示を頂く機会を得て、念願だったアユの友釣りに初挑戦。名人の親切、丁寧、適切な御指導のお陰は勿論、ビギナーズラックも重なり釣果9匹と大変興奮しました。最高の父の日のプレゼントができました。

地域関係者の皆様のご努力によって、このような清流や、自然豊かな環境が守られており、この魅力をこれからもしっかりと発信していきます。



人生で初めて釣ったアユ

〈先月号の記事の追記〉 先月号の「御月八日の行事」の記事に関して地域の有識者の方から、卯月八日(うづきようか)にあたるこの行事が、口伝で傳承される中で少しずつ変化し御月八日と呼ばれるようになったこと。また、この地域の四月はまだ寒くないため五月に行われる行事になったということをご教示頂きましたので、改めてこの号で掲載させていただきます。